

平成 24 年 11 月 21 日

各 位

株 式 会 社 ニ チ リ ン
代表取締役社長 清 水 良 雄
コード番号 5 1 8 4 大証第 2 部
問 合 せ 先 取締役総務部長 森川良一
TEL (079) 252-4151

**「平成 24 年 12 月期第 3 四半期報告書」および「有価証券報告書等ならびに
内部統制報告書の訂正報告書」の提出完了に関するお知らせ**

当社は平成 24 年 11 月 9 日に開示した「平成 24 年 12 月期第 3 四半期報告書提出遅延ならびに監理銘柄（確認中）への指定見込みに関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、平成 24 年 12 月期第 3 四半期報告書について、金融商品取引法に定める提出期限である平成 24 年 11 月 14 日までに提出できず、平成 24 年 11 月 22 日を目処に提出すべく作業を進めてまいりましたが、本日、平成 24 年 12 月期第 3 四半期報告書を近畿財務局に提出しましたので、お知らせいたします。

なお、平成 24 年 12 月期第 3 四半期決算短信および過年度の決算短信の訂正も本日開示しております。

また、当社は平成 24 年 11 月 16 日に開示した「当社連結子会社の不適切な会計処理に関する調査結果等について」にてお知らせしましたとおり、調査委員会より 11 月 16 日付で受領しました調査報告書による指摘を踏まえ、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書とともに、当社の内部統制に重要な欠陥、開示すべき重要な不備がある旨を記載した内部統制報告書の訂正報告書を本日付で近畿財務局へ提出いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本日提出した有価証券報告書等の訂正報告書

- ①平成 23 年 12 月期（第 128 期） 第 1 四半期報告書
- ②平成 23 年 12 月期（第 128 期） 第 2 四半期報告書
- ③平成 23 年 12 月期（第 128 期） 第 3 四半期報告書
- ④平成 23 年 12 月期（第 128 期） 有価証券報告書
- ⑤平成 24 年 12 月期（第 129 期） 第 1 四半期報告書
- ⑥平成 24 年 12 月期（第 129 期） 第 2 四半期報告書

2. 訂正による影響額

別紙をご参照ください。

3. 訂正の理由

訂正の経緯につきましては、平成24年11月16日に開示しました「当社連結子会社の不適切な会計処理に関する調査結果等について」をご参照ください。

4. 本日開示した訂正決算短信

- ①平成23年12月期 第1四半期決算短信
- ②平成23年12月期 第2四半期決算短信
- ③平成23年12月期 第3四半期決算短信
- ④平成23年12月期 決算短信
- ⑤平成24年12月期 第1四半期決算短信
- ⑥平成24年12月期 第2四半期決算短信

5. 本日提出した内部統制報告書の訂正報告書

- 1) 第128期（自平成23年1月1日 至平成23年12月31日）内部統制報告書
- 2) 訂正の内容（訂正箇所は下線で表示しております。）

3【評価結果に関する事項】

（訂正前）

上記の評価の結果、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断しました。

（訂正後）

下記に記載した財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、重要な欠陥に該当すると判断しました。従って、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効でないと判断しました。

記

当社は子会社に対して月次業績報告を義務付けております。当社連結子会社であるニチリンテネシー インク（米国 テネシー州 ルイスバーグ市：以下NNT社）の月次業績報告に関して、平成24年5月頃から売上に対する利益が通常とは異なる傾向を示していたため、当社取締役会は、子会社管理部門である経営企画部に調査を指示し、各種のケースを想定し原因調査を行わせましたが、究明には至りませんでした。しかしながら、その後の同社社長への聞き取り調査等から棚卸資産額に問題があると思われたため、当社内部監査室による定期的な内部統制監査実施時（平成24年8月）に棚卸資産について重点監査するよう指示を行いました。現地での在庫抜き取り調査の結果、同社が平成24年6月末日（第2四半期決算日）現在の在庫金額を過大計上している疑惑が高まりました。

この時点で、NNT社社長（当社取締役北南米地域総括：平成23年4月にNNT社社長就任）から当社に対し、不適切な会計処理を行っていた旨報告がありました。この報告を受け、当社代表取締役社長清水良雄を委員長とする社内調査チームを9月3日に編成し、現地に調査メンバーを派遣するなど事実確認の結果、NNT社は平成23年期末から平成24年6月にかけて不適切な会計処理を行っていることが判明いたしました。

当社は、この事前調査の結果をふまえ、平成24年9月28日取締役会の決議により調査委員会を設立し、実態調査を開始しました。調査の結果、在庫数量操作による棚卸資産の過大計上（利益の過大計上）という不適切な会計処理が、平成23年期末から平成24年6月にかけて行われていたことが明らかになりました。また、調査の過程において、誤謬による棚卸資産の過大または過小計上、処理タイミングの認識相違に起因する買掛金の取崩しによる利益計上なども発見されました。

当社は本件への対応として、過年度の決算を訂正するとともに、平成23年12月期の有価証券報告書および平成23年第1四半期、平成23年第2四半期、平成23年第3四半期、平成24年第1四半期、平成24年第2四半期の四半期報告書について訂正報告書を提出いたしました。

これらの事実は、当社の内部統制において、当社から海外子会社の会計に対する監視、当社から海外子会社に対する統制、海外子会社の人員の教育、コンプライアンス研修、内部通報制度などが充分でなかったことに起因するものであります。

以上のことから当社の全社的な内部統制、全社的な観点で評価する決算・財務報告プロセスに関する内部統制に重要な欠陥があったため、不適切な会計処理が行われたものと認識しております。

なお、重要な欠陥については、本訂正報告書提出時点において是正が完了しておりません。

当社におきましては、調査委員会の提言をふまえて、以下に示す内容を骨子として、財務報告に係る内部統制の重要な欠陥の是正に着手しております。

- (1) 当社から海外子会社の会計に対する監視強化
- (2) 当社から海外子会社に対する統制の強化
- (3) 海外子会社の人員の教育充実
- (4) コンプライアンス研修の充実
- (5) 内部通報制度の充実

以上

別紙 過年度の連結への影響額

(単位：千円)

期	勘定科目	訂正前 (A)	訂正後 (B)	差異 (B-A)
平成23年12月期 (第1四半期)	売上高	8,800,806	8,800,806	0
	営業利益 (損失)	388,028	342,673	△ 45,355
	経常利益 (損失)	432,215	386,860	△ 45,355
	当期純利益 (損失)	253,579	225,489	△ 28,090
	流動資産	16,051,146	16,011,559	△ 39,587
	(うち棚卸資産)	(4,091,049)	(4,045,196)	(△ 45,853)
	固定資産	13,990,625	13,991,268	643
	資産合計	30,041,771	30,002,828	△ 38,943
	流動負債	10,807,116	10,807,116	0
	固定負債	8,696,647	8,686,109	△ 10,538
純資産	10,538,008	10,509,601	△ 28,407	
平成23年12月期 (第2四半期)	売上高	15,607,574	15,607,574	0
	営業利益 (損失)	108,392	91,324	△ 17,068
	経常利益 (損失)	183,010	165,943	△ 17,067
	当期純利益 (損失)	△ 119,017	△ 129,199	△ 10,182
	流動資産	14,741,521	14,710,160	△ 31,361
	(うち棚卸資産)	(4,042,161)	(4,013,765)	(△ 28,396)
	固定資産	13,950,222	13,950,453	231
	資産合計	28,691,744	28,660,613	△ 31,131
	流動負債	9,650,753	9,639,138	△ 11,615
	固定負債	9,039,317	9,029,801	△ 9,516
純資産	10,001,673	9,991,674	△ 9,999	
平成23年12月期 (第3四半期)	売上高	23,979,601	23,979,601	0
	営業利益 (損失)	371,498	266,869	△ 104,629
	経常利益 (損失)	409,484	304,854	△ 104,630
	当期純利益 (損失)	132,745	69,774	△ 62,971
	流動資産	15,139,800	15,081,377	△ 58,423
	(うち棚卸資産)	(4,171,829)	(4,115,689)	(△ 56,140)
	固定資産	13,333,977	13,357,090	23,113
	資産合計	28,473,778	28,438,467	△ 35,311
	流動負債	9,890,192	9,933,242	43,050
	固定負債	8,746,518	8,727,674	△ 18,844
純資産	9,837,067	9,777,550	△ 59,517	
平成23年12月期 (通期)	売上高	33,463,104	33,463,104	0
	営業利益 (損失)	754,157	649,830	△ 104,327
	経常利益 (損失)	682,270	577,943	△ 104,327
	当期純利益 (損失)	64,798	△ 10,206	△ 75,004
	流動資産	16,234,931	16,210,201	△ 24,730
	(うち棚卸資産)	(4,757,504)	(4,704,793)	(△ 52,711)
	固定資産	13,529,882	13,531,270	1,388
	資産合計	29,764,813	29,741,472	△ 23,341
	流動負債	11,256,368	11,296,314	39,946
	固定負債	8,350,214	8,359,969	9,755
純資産	10,158,230	10,085,188	△ 73,042	
平成24年12月期 (第1四半期)	売上高	10,261,078	10,261,078	0
	営業利益 (損失)	857,468	788,628	△ 68,840
	経常利益 (損失)	944,195	875,355	△ 68,840
	当期純利益 (損失)	693,797	649,287	△ 44,510
	流動資産	17,161,003	17,044,174	△ 116,829
	(うち棚卸資産)	(4,951,297)	(4,802,106)	(△ 149,191)
	固定資産	14,058,531	14,060,931	2,400
	資産合計	31,219,535	31,105,105	△ 114,430
	流動負債	11,775,644	11,797,818	22,174
	固定負債	7,849,429	7,836,544	△ 12,885
純資産	11,594,460	11,470,742	△ 123,718	
平成24年12月期 (第2四半期)	売上高	19,541,057	19,541,057	0
	営業利益 (損失)	1,015,335	986,310	△ 29,025
	経常利益 (損失)	1,024,636	995,611	△ 29,025
	当期純利益 (損失)	631,512	605,651	△ 25,861
	流動資産	16,925,522	16,867,035	△ 58,487
	(うち棚卸資産)	(4,580,477)	(4,493,077)	(△ 87,400)
	固定資産	13,778,664	13,780,525	1,861
	資産合計	30,704,186	30,647,560	△ 56,626
	流動負債	11,124,829	11,158,751	33,922
	固定負債	8,602,924	8,612,561	9,637
純資産	10,976,432	10,876,247	△ 100,185	